



# おやさまの道すがら略年表

※PCやスマホで●の部分をクリックすると  
Hapist「おやさまを求めて」のページにアクセスできます。

明治															慶応		元治	文久		万延	安政					嘉永					弘化				天保					文化	寛政	元号										
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	元	3	2	元	元	3	2	元	元	6	5	4	3	2	元	6	5	4	3	2	元	4	3	2	元	14	13	12	11	10	9	7	10	
50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			立教
90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	13	1	御年

官憲による取り締まり	20 迫害や離反	貧のどん底	貧に落ちきられていく 9 8	主な出来事
<p>1月4日、教祖の身上迫る。陰暦正月26日、現身を隠される。</p> <p>2月、樺本分署に拘留。</p> <p>3月と8月、奈良監獄所へ拘留。4、5、6月の陰暦26日前後、警察署に留置される。</p> <p>8月、雨乞いづとめ。陰暦10月26日、御休息所へ移られる。</p> <p>5月、かんる台の石没収。10月29日、奈良管察署に拘留。「いちれつすまして」「あしきをばらつて」に改める</p> <p>4月、秀司が出直される。5月より、かんる台の石普請が始まる。</p> <p>9月、天輪王講社の開筵式。眞之亮がおやしきへ移り住む。</p> <p>秀司を講元に眞明講を結成。</p> <p>女鳴物の三曲を教えられる。中山たまへ誕生。秀司、奈良管察署に40日間の留置。</p>	<p>6月頃から75日間の断食。9月頃から別火別鍋と仰せられる 19</p> <p>飯降伊蔵に命じて模型のかんるだいを制作。</p> <p>前川家にかぐら面を迎えに行かれる。12月23日、山村御殿へ 21 12月26日、赤衣を召される 22</p> <p>ちば定め 23 こかん出直し。中南の門屋へ移られる 24 第三節「いちれつすますかんるだいが教えられる」</p> <p>秀司、小東まつゑ(19歳)と結婚 18</p> <p>第二節「ちよとはなし」と第四節「よろづよ八首」を教えられる。</p>	<p>この頃、樺枝村の西田伊三郎が信仰を始める。</p> <p>前栽村の村田幸右衛門が信仰を始める。</p> <p>仲田儀三郎、辻忠作らが信仰を始める。</p> <p>山中忠七、飯降伊蔵らが信仰を始める。つとめ場所の普請が始まる 12 大和神社のふし 13</p> <p>つとめ場所が完成する。助造事件。</p> <p>第一節「あしきはらひ…」の歌と手振りを教えられる。5月、眞之亮誕生。</p> <p>第五節「十二下りを教えられる。秀司、京都吉田神祇管領に公認出願。認可。</p> <p>(徳川幕府から明治政府へ。政府は、神道による国民教化を図る)</p>	<p>この頃、信者が初めて米4合を持ち寄る。</p> <p>隣家の清水惣助の妻ゆきに、をびや許し。</p> <p>清水惣助の妻ゆき、再度のをびや許して安産のご守護を頂く。</p> <p>11月、三女・おはるの初産で「をびや許し」 11</p> <p>2月22日、善兵衛出直し。母屋取りこぼち。こかん、浪速へ神名流し 10</p> <p>この頃、神命によりお針子を取り、裁縫を教えられる。</p> <p>をびやためしにかかれる。</p> <p>この頃、約3年間に蔵にこもられる。</p> <p>10月26日、教祖「月日のやしる」と定まれる 6 7</p> <p>9月15日 中山家にご入嫁。</p>	<p>4月18日 教祖、大和国山辺郡三昧田村でご誕生 4</p> <p>51歳 23歳</p> <p>5 夫 善兵衛</p> <p>18歳</p> <p>長男 秀司</p> <p>14歳</p> <p>長女 おまさ</p> <p>8歳</p> <p>三女 おきみ (後のおはる)</p> <p>2歳</p> <p>五女 こかん</p>
<p>22歳</p> <p>63歳</p> <p>こふきを作ることを急ぎ込まれる</p>	<p>初代真柱 眞之亮</p> <p>49歳</p> <p>おつとめを教えられる 16 15</p> <p>おふでさき ご執筆 17</p>	<p>お屋敷へ通う人が増えてくる 14</p>	<p>66歳出直し</p> <p>33歳</p> <p>29歳</p> <p>23歳</p> <p>17歳</p>	<p>おやさまのお立場</p> <p>2 月日のやしる</p> <p>3 ひながたの親</p>